



美馬ロータリークラブ週報

3月24日 火曜日

Vol.430

例会出席者 20名（会員数 29名） 出席率 69 %
メーキャップ 3/23(日)大谷川清掃奉仕
川田・七田・杉原・青木(博)・三好・北室 6名
修正出席率 89.7%
ゲスト ありません

■前田会長代行挨拶

皆さん今晚は、今日は会長所用のため、代わってご挨拶申し上げます。

ロータリーにおける職業奉仕の理念は、

「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」であります。これはセルドンが提唱したフレーズで、1902年これはロータリーが創設される3年前、セルドンが経営学を教える学校を設立した際、経営者としての心構えを教えるために説いたものです。セルドンの奉仕理念は極めて単純明快なものです。事業を営んでいる限り、価値ある奉仕を行う必要があること。奉仕を行う能力を開発して、その能力を運用すること。奉仕を行えば、正当な報酬が得られること。健全な事業経営とは奉仕理念に基づいて、継続的な利益をもたらす常連客を確保することです。プロフィットとは、奉仕を行った正当な報酬のことです。

奉仕と言う原因には、必ず報酬という結果が与えられます。この順番を間違えないことが重要です。あまりにも事業に失敗する人が多いのは、この順番を間違えて、「報酬」と言う結果を得ようという人がいるからです。セルドンの経営理念のこのフレーズは1927年ロータリーの職業奉仕理念として定着しました。

そのおかげで、モノを売る仕事の一つの立派な職業となったのです。奉仕はロータリーの職業奉仕の理念でもありますが、経営の理念でもあります。こういう風にセルドンの本にあります。奉仕と言うものを皆さんもう一度お考えになったらと思っております。以上で挨拶に代えさせて頂きたいと思っております。

■幹事報告

◇到着週報 鴨島 RC

◇連絡事項 来期の国際ロータリーへ短期交換留学生をつぎ高校の生徒さんから推薦することになりました。

■委員会報告

社会奉仕委員会 川田委員長

大谷川の清掃を3/23(日)に行つて参りました。燃えるごみ4袋 燃えないごみ1袋を

メーキャップ6名の皆さんで清掃しました。6月にもう一回掃除しようと思っておりますので、よろしく願います。

澤田次期会長

- 3月29日(日)の地区協議会について、10時から受け付け開始のため、朝9時に出発します。10分前には廣川さんのところに皆さん来ていただきまして、そこからまとまってバスで行けたらと思っております。以前幹事からも報告があったかと思いますが、終了後、脇町へ戻って、18時から「焼肉つる松」で懇親会を予定しております。来期に向けての皆様との懇親会になればと思っております。楽しみにしててください。

■卓話 前田豊太郎会員(養蚕業復活について)

今日が最終の卓話日かと思ったら、今日は31日の卓話があるんですね。来週は松浦さん、頑張ってくださいね。彼岸を過ぎて、やっと寒さも和らいできました。今日は肌寒かったです。桜を待つちょうど今の時期は大変うきうきして一年のうちでも一番いい季節がではないかと思えます。

ちょうど3年あまり前に、実は「脊椎間狭窄症」という聞いたこともない病気になりました。骨と骨の間のパッキンがすり減って、神経を圧迫する病気ということで、相当悩んでおりましたけども、大分休んで、好きなゴルフを減らしたり、体重を減らすために、食事やアルコールも控えて、最も自分の趣味としておりました囲碁も長く座るといって、何かしなければストレスがたまると、いろいろと考えていたところ、少し前に思いついた、「糸作り」を始めてみました。お蚕さんといえば、20～30年前には盛んに行われていた産業で、特に徳島県の西部は熱心でありました。現在は中国や東南アジアに押されておられて、全国の養蚕をまとめましても、0.2%以下に減ってきております。ほとんど国内の養蚕はなくなったと言っていいのではないかと考えております。徳島県では10年前に1軒もなくなりました。生糸(お蚕さんから糸を取る)仕事を製糸業と言いますが、鴨島の筒井製糸さんはじめ、県下に最終3軒になっておりました。これも今から30年ほど前に歴史に幕を閉じたのですが、その3軒のうちの1つが我が家で、前田製糸でありました。そういうこともありまして、徳島県におきましては、お蚕の繭を糸にして、細い糸を紡ぎ(1つの繭から1200m取れる)まして、京都にそのまま送っていました。繊維になるまでにはいくつか段階があるわけですが、その工程を行う会社が実は徳島県にはありませんでした。ですので、徳島県では、製品にはつながっていませんでした。皆さんもご存じのように、衣類、それは木綿、絹、麻とか毛、化学繊維などでできているわけですが、そのもとになる糸はどのようにできていると思えますか？天然繊維については、もとになる繊維を短い繊維で帯状にしまして、それを撚るわけです。一本の糸を撚り合わせることによって、太く、強くしていくわけです。タコ糸を思い出していただければ、何本かの糸が撚り合わさっている、この「よりをかける」というのが、大事な工程であります。福井県(中でも勝山市)がそのメッカでありまして、曇りの日が多く、湿気を含んだ天気は糸が切れにくいということで(撚糸ねんし)にとっては大変良かったそうです。私がやろうとしていることは、徳島県には全くなかった、その糸作りから始めなければならないので大変そうです。竹の糸車を利用して糸を作り、その後は機織り機を利用できればと夢を持っております。大物は目指していませんが、タペストリーや小物から作れたらと思っています。筒井製糸さんがなくなってから、生糸そのものが県下から消えてしまいました。それで、徳島は地元美馬に何か作る技術を残せないかと思っています。これらが成り立てば、若い人や学生に見てもらえる。衣類の原点になる糸作りを「美馬のブランド」としていけるようにと一歩を踏み出してみました。(繭細工の人形、作られた糸を藍の液で染めたものなど手作りの質感が感じられる作品を見せていただきました。前田さんの取り組みが広がれば、地域おこし協力隊や伝統工芸に通じる感性を持つ若者たちに支えられるといった希望も見いだせるのではないのでしょうか。前田さんこれからも頑張ってください。)

■ニコニコ

- ▶ 矢野会員(先日、つるぎ町の教育委員に選ばれました。奉仕に行かず徳島マラソンに行きました。それなのに、35km地点で強制送還されてしまいました。すみませんでした。)
- ▶ 川田会員(同級生が読売新聞に短歌を投稿してくれ、当店のことを一句読んで入選しました) 読売新聞の年間優秀賞 「和菓子屋の恋ののれんや 春の水」
- ▶ 戸島会員(青少年奉仕活動・2/26の児童生徒の肥満防止講演会が徳島新聞に掲載されました)

次回例会

2015年3月31日(火) 18:30からレストラン西岡

プログラム

卓話 / 松浦美紀子会員(靴製造業について)

欠席 青木茂生・小田教仁・田中義美・田野寿一・長浦保福・浪越繁男・林秀樹
藤田茂樹・森廣一

☆ 欠席の会員はメーカーアップをお願いします。次回例会に欠席の会員は出席委員長までご連絡をお願いします。